

此日本新聞八月七日一面の

「被爆70年 核廃絶願う」の記事を読んで

二年 塩谷 宥成

私は毎年この記事をかかすず読みます。読まなければいけない、一年に一回必ず考えなければいけないことだからです。前日の6日は「原爆の日」。今から70年前、世界で初めて原爆が広島に投下された日です。僕は記事から松井市長の「広島をまどうてくれへ元通りにしてくれ」という平和宣言の一部にと

ても深い意味が盛り込まれていると思っ
ます。

僕は去年の夏休みに家族で広島に旅行へ行
きました。広島に行ったらどうしても一度は
行きたいと思っ
てりた原爆ドームと平和資料

館、平和記念公園に父親に頼んで行かせても

らいました。戦争にっりて知りたかったので

す。一九四五年八月六日に広島で何があつた

のか知りたかつたのです。小学校の頃から社

会料がとても好きでその中でも一番興味をも

ったのは第二次世界大戦の分野でした。戦争は決してはいけないう、戦争を二度と繰り返してはりけないう。大人の人はずういうければ、ては一体何がダメなのか、そう感じたのが開味をもつきつかけでした。ヨーロッパで始まつていく戦争がどんどんと了了にせまり、そして満州事変、日中戦争さらには真珠湾の了了り力海軍を攻撃して始まつた太平洋戦争。興味をもつたと同時に資料を読み進めると止まりませんでした。そうしていくうちに戦争がな

ぜダメなのかわかりました。ダメな根底は人の命を奪うレトリックとだと自分で解釈しました。そして繰り返してはいけないう。平和資料館で見た実際の資料、写真には見えていたくないものばかりでした。しかし、目を背けてはいけないうと思ひ、今でも自分の目に焼きつりてります。

広島市の松井市長の平和宣言が今になって自分の心に止まるのは、今の広島を自分の目で見て、自分の足で立たたからです。そ

ここには、他の県、市とは全く変わらないうちが
ありました。しかしそれは、再生した広島
です。言っ てしまおうと、元通りに復元した広
島だと感心しました。原爆が投下される前の広
島を僕は知りたくても知れなりのです。広島
の方々はとても温かく地元愛の強い方々がた
くさんおられました。しかし、みなさんの心
には、そんな地元を傷つけられた悲しみで
まいいの傷を背負っ ておられる方もおられる
のだと気付きました。これらのことか、広島
をまじうてくれしと言われた意味だと受けと
りました。もしこれが自分の解釈として違
ってりたとしても、過去にそういっ たことが
あつたのだとソウことを語り続けなければい
けなうじ、世界中の自分達の世代の人々が戦
争を行わず平和を求め続けなければいけない
なと強く思いました。